

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム こよみ作成日: 平成 27 年 12 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	市町村との連携	運営推進会議に行政職員が参加しているので、地域密着型事業所として、認知症介護の知識や技術を活かし、啓発活動や相談事業に繋げ、行政と協働で取り組んでいく。	各地で行われている徘徊模擬訓練や認知症カフェ等を行政や、地域と協力して行い、認知症について参加者に理解して貰い、独居老人の安否確認と合わせ、行政と連携を図っていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は雑談も交えながら充実した会議であるが、議事録が整備されていないので、会議の中で、記録担当を決めて、会議の内容を記録していく。	参加委員を増員して固定化し、ホームの実情を理解した委員が、ホーム運営に取り組み、小規模多機能ホームと連携し、会議を通して、参加委員の協力と情報を共有し、ホーム運営に反映させていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。